

事業番号	05 03 11	事業改善シート(27年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	産科医等確保支援事業				担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト	4-4-3 健康づくり・医療充実プロジェクト			課・室	医療推進課医師確保対策室		
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり			E-mail	doctor@pref.nagano.lg.jp		
		3 医療従事者の養成・確保			実施期間	H21 ~		

1 事業の概要

目指す姿	分娩を取り扱う産科医及び分娩施設が減少していることから、分娩を取り扱う産科医・助産師に対する手当(いわゆる分娩手当)の支給を支援することにより、産科医等及び産科医療機関の確保を図る。 また、帝王切開術による出産件数の増加に伴い、時間外の帝王切開術実施のために呼び出しを受ける産科医等に対する手当の支給を支援することにより、産科医等の処遇改善を図る。 成果目標:人口10万人当たり医療施設従事医師数 205人(H22) ⇒ 230人(H29) 参考 211.4人(H24)				
現状(予算編成時)	○県内における分娩取扱医療機関の減少(H13:68箇所 ⇒ H26.11:45箇所) ○近年、産科医は増加しているものの依然として不足感が強く、引き続き産科医を確保する必要がある。				
県が関与する理由	県関与の必要性あり 県民との協働による実施:実施は困難	【左記の説明、根拠法令等】 地域医療介護総合確保基金を活用し実施することが効果的である。 産科医等確保支援事業補助金交付要綱			
成果目標・事業内容	① 成果目標(H27) ○補助事業実施施設(病院・診療所・助産所)を現状(H26:39施設)以上とする。 ○現状の分娩を取り扱う医療機関数(45箇所)を維持する。				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H27事業実績	H27(当初)	H27(決算)
分娩手当支給への支援	補助金	産科医等に対して分娩手当を支給した医療機関に対し、補助金を交付	46,972	36,615	45,667
時間外の帝王切開術のための呼び出しに対する手当支給への支援	補助金	時間外の帝王切開術のための呼び出しに対する手当を支給した医療機関に対し、補助金を交付	7,134	1,767	7,134
合計			54,106	38,382	52,801

事業	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
		前年度繰越			
予算額	当初予算	52,191	52,191	54,106	52,801
	補正予算	-10,629	813		
	合計(A)	41,562	53,004	54,106	52,801
Aの財源	一般財源	7,010	813		
	県債				
	国庫支出金	34,552			
	その他	0	52,191	54,106	52,801
ト	決算額(B)	33,739	37,143	38,382	
概算人件費	職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30
	概算人件費(C)	2,477	2,477	2,483	2,483
	概算事業費(B(A)+C)	36,216	39,620	40,865	55,284

項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
事業実施施設数	38	39	38	未達成	—
県内分娩取扱施設数	44	45	45	達成	45

目標に対する成果の状況	これまで本事業を活用していた補助事業実施施設が分娩休止を行った影響により、事業実施施設数は目標件数に満たなかったが、当補助事業により、産科医等及び産科医療機関の確保を図ることができ、分娩取扱施設数は維持できた。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 引き続き、産科医の確保・定着及び産科医療機関の維持を図っていく。
--------------------	---